

(様式3)【藍住北小学校 実施報告書①】

拠点校として取り組んだ実践研究テーマ

主体的に学習に取り組む児童・生徒を育むための指導方法の工夫改善

実践研究の内容等

月	内容等
5	【拠点校事業①】 学力向上実行プラン作成検討会 ・拠点校と協力校との課題を共有し、小中連携における共通の取組についての検討
6	【拠点校事業②】 授業づくり交流会（6年社会） ・拠点校と協力校における学力向上実行プラン共有 ・学力向上実行プランをもとにした研究会
8	・全国学力・学習状況調査，ステップアップテスト結果分析
9	【拠点校事業③】 全国学力・学習状況調査，ステップアップテスト結果，課題の共有 ・学力向上実行プランの中間見直し
11	【拠点校事業④】 協力校の公開授業参観 【拠点校事業⑤】 授業づくり交流会（1年国語） ・学力向上実行プランをもとにした研究会
2	【拠点校事業⑥】 2年間の取組の達成状況のまとめ

(様式3) 【藍住北小学校 実施報告書②】

取組の流れ

学力向上実行プラン
作成検討会

授業づくり研修会
指導案検討会

研究授業①
授業研究会

学力調査・ステップ
結果分析

授業づくり研修会
指導案検討会

研究授業②
授業研究会

特徴ある取組について

指導案検討会では単元のねらいについて話し合い、指導計画全体について協議することで、より児童にとって興味関心をもてる展開とすることができた。

児童が「話す聞く場」を設定し、他者に伝えたいという思いを高めるために授業参観者に「自動車クイズ」を児童が出題し、答えてもらう場を設定した。協力校の教員も参加していたので、小学校1年生の学び方を見ていただくよい機会となった。



（様式3）【藍住北小学校 実施報告書③】

取組の成果

小学校2校，中学校で学力向上実行プランにもとづいての話し合いを進めるなか，3校ともに同様の課題を抱えていることが分かり，課題克服のための指導方法の工夫改善についてじっくり話し合うことができた。他校の校内研修のすすめ方や学力向上の取り組み方を共有したことで，他校の取組を自校に生かすことができたり，小学校の学びを中学校にうまく接続するために小学校の取組を中学校に伝えたりすることができた。

本校の学校力について

学校力を，「自ら考え，判断し，表現できる子どもを育てることができる教職員集団」と捉え，教職員一人一人の授業力アップを目指した。本校は幅広い年齢層の教職員で構成されているため，相互に補完しながら，自らの学級経営や教材研究の充実を図り，個に応じた指導の工夫に役立てていくこととした。

管理職のマネジメントについて

日頃から校内を回り，授業の様子を見ているため，教職員一人一人が指導や学級経営に行き詰まったときに的確なアドバイスをすることができた。また，指導案検討会では授業者の思いを受け止め，児童が意欲をもって取り組むことができるように，単元計画から授業展開に至るまで指導助言することができた。